

原稿提出者	所属校	〇〇町立〇〇〇学校
	職・氏名	栄養教諭 〇〇〇〇
指導案授業	実施校	〇〇町立〇〇〇学校
	実施日時	令和〇年 月 日〇校時
「学校給食研究会栄養士部会 〇〇方部授業研修会」で実施		

## 第 学年 学級活動(2)指導案

指導学年 第 学年 組 計 名

指導者 T1：学級担任（氏名）

T2：職名 （氏名）

- 1 題材 「 」
- (エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成) (※小学校の場合)
- (オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成) (※中学校の場合)

### 2 題材設定の理由

本学級は、・・・

題材設定の理由は、こういう児童（生徒）で、  
 こういう課題があるので、本時でこういう指導を  
 して課題を解決したいという意図で記入する。

- ・具体的に題材に即した実態
  - ・数的に表した具体的な実態 を記入するとよい
- そのため、自己の生活上の課題に気付き、多様な意見をもとに、自ら解決方法を意思決定することができるように、本時では、「つかむ」「さぐる」「見つける」「決める」で、どのように指導するのか記入する。実践させるためにどのように指導するのか記入する。

つかむ段階では、・・・

さぐる段階では・・・

見つける段階では・・・

決める段階では・・・

自己の生活をよりよくするために、授業後は、学級担任と連携し、自宅でも～しようとする意欲を育てる。～しようとする態度を養う。

### 3 『ふくしまっ子食育指針』との関連

食べる力の要素	期待する姿

### 4 評価基規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての活動を通した思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
～を理解している。 ～を身に付けている。	～している。	見通しを持ったり/ふり返ったりして ～しようとしている。

学校で定めた低・中・高学年の評価規準を記述する。  
 まだ整備していない学校は、『学習と評価の一体化』のための  
 学習評価に関する参考資料 小学校 特別活動 P52」を参照。

5 活動計画

事前	給食時： 事前調査：
本時	・ ・
事後	給食時： 家庭との連携：
他教科等との関連	国語科： 社会科： 家庭科： など 給食時： 家庭：

6 本時のねらい

- ・～するためにはどのようにすればよいか、
  - ・～しようとする意欲をもたせ、
- 実践することを具体的に決めることができる

自分の課題を理解し、解決するために実践できるような内容にする

7 本時の活動

段階	学習活動・内容	時間 (分)	○指導上の留意点 ※評価		資料
			T 1	T 2	
意識化	1 本時のめあてをつかむ。 (1) 身体の ○ アンケート結果を <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>子どもの視点で記入する ～する</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; color: red;">                     めあては囲んで記入する                 </div>		○ 自分の考えを發表させる。	教師の視点で記入する ~させる	
現状把握				子どもにとって必要感・必然性のあるものに	
原因追求				集団思考につながる指導内容に	
実践意識化				意思決定の意識化・実践化を図る	

8 指導上の留意点

アレルギー、家庭環境等、配慮が必要な場合は明記する。

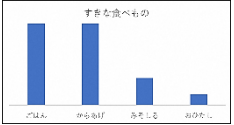
9 準備・資料等

10 板書計画

--

11 使用したワークシート

12 授業の実際(7の過程をさらに具体的に記入する。)

学習活動・内容	教師の働きかけ・発問	児童・生徒の反応	資料
1 めあてをつかむ。	(T1)アンケートを見て気付いたことを発表しましょう。	 <p>・ごはんが好きな人が多いです。</p>	
※「つかむ」「さぐる・見つける」「きめる」で区切る。			

○ 実際の板書・教材・学習活動の様子



※ 実践後のワークシートや活動の様子など、授業内容が分かる記録を示す。  
 ※ 児童生徒の写真(ワークシート)を載せる場合は、個人情報に配慮する。  
 (授業実施校に確認する)

13 研究協議(事後研究)および指導助言より

【授業内容】

段階	○有効だった／●改善が必要
つかむ	○ 教材が… ※中学校は「意識化、現状把握・原因追求、実践意識化」で分ける。
さぐる	● 板書は…
みつける	
きめる	

【全体を通して】

- 児童が…
- 授業の…

14 成果と課題(○成果／●課題)

※ 学級活動(2)では、「**授業+実践+家庭との連携・他教科との関連**」の結果についてまとめる。

- ・授業をして、どう思ったか…△
- ・授業後、実践に取り組ませたことで児童がどう変容したか…◎